

## 有意義な時間

2008年度修了(会計専門職専攻) 櫻井 裕子



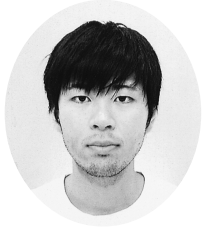
会計士試験における監査論という科目は、イメージがわきにくく私にとって一番の苦手科目でした。そこで、自身の監査へのイメージを確立するとともに、実際の業務を間近で感じたいという思いのもと、この度必ず監査法人にて5日間のインターンシップに参加させて頂きました。

研修は、監査手続(実査・立会・確認)のロールプレイングや、某メーカーの工場見学、今日の会計士業界において議論されている問題についてのディスカッション、懇親会等の内容でした。監査手続の説明では、様々な資料が配られた上で、新人会計士役、意地の悪い経理部長役、監査役の役等にそれぞれ分かれ、各視点から監査業務を考察しました。多くの資料やデータを照らし合わせ問題を解決していく作業は、とまどいもありましたが、授業で学んできたことを実際に体験することで1つ1つの作業が私の中でリアルになっていき、率直に楽しいと感じました。

今回のインターンシップを通じて、最も変わったと思う点は、会計士になることの目的意識です。業務を執行していらっしゃる方々の生き生きとした姿や、現状で満足することなく成長を望む姿勢には、感銘を受けました。また、受験勉強での知識が会計士試験合格に向けてのものにとどまらず、実務でも非常に役に立つものだと感じ、より一層モチベーションが上がりました。今後は実践を見据えての学習を心がけていきたいです。

## インターンシップから学べた事

2009年度修了(会計専門職専攻) 勢馬 匠



私は、2月下旬に5日間、あらた監査法人で行われたインターンシップに参加させていただくことになりました。インターンシップの参加を希望した理由は、大学院で学んできた会計・監査が実務の場ではどのように使われているのかを身をもって体験したかったからです。

今回のインターンシップでは、3つの貴重な経験を得ることができました。1つ目は、教科書で学んだ監査計画・監査手続等が、実務ではどのように議論され決められるのかを学ぶ事ができた点。2つ目は、研修担当者だけでなく、たくさんのスタッフの方々から、あらた監査法人の持つ経営理念のもと、個々の会計士が目指す将来像など、ひとりひとりが専門職という事に強い信念を持って監査業務に従事されていることを知ることができた点。3つ目は、インターンシップを通じて他大学のアカウンティング生と交流を持つことができた点です。

5日間という短い期間でしたが、その中身は2年間の大学院生活では決して学ぶことのできない大変有意義な経験になりました。この貴重な経験を自身の糧にして、一日でも早く職業会計人としての一步を踏み出せるよう努力していく所存であります。

最後に、今回のインターンシップを受け入れてくださいましたあらた監査法人様、及び参加させていただく機会を与えてくださいました関西学院大学の教授陣の皆様には厚く御礼を申し上げます。